※ 本資料の記載事項は「部長会」の総意ではなく、あくまでも黒田の現場経験からの個人の所感です。

資料2

医療DXを進めるために

medical informatics

黒田知宏

京都大学医学部附属病院 医療情報企画部長

（大学病院 医療情報・企画部門長会議 会長）

京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京大病院 病歴管理室 スキャンセンター





確認

一時保管



スキャン済書類
1ヶ月分

三ヶ月後廃棄



テープ止めが必要な書類

一日当たり 文書スキャン取込件数

	令和3年度	令和4年度
２号用紙	764	790
診断書関係	477	644
その他	6,695	6,765
合計	7,937	8,198

- ✦ 患者さんの署名・押印が必要な書類
- ✦ 医師　　の署名・押印が必要な書類

行政文書等に（署名・押印を含めた）紙運用が残っているため
医療機関では大きなコストがかかっている

患者さんの署名 が 必要 な 書類

- 各種同意書
  - 手術・造影剤 etc
- 研究同意書
  - ⇒ **電子的に取得可能に**

- **付加サービスの同意書**
  - 寝間着・個室料 etc
  - ベッドサイドテレビ

電子的に取得しては
駄目ですか？

マイナンバーカードで本人確認できれば
活用範囲も広がるはず

療養の給付と直接関係ないサービス等の取扱いについて

（平成17年９月１日　保医発第0901002号）
（最終改正；平成20年９月30日　保医発第0930007号）

（地方厚生（支）局長・都道府県民生主管部（局）・国民健康保険主管課（部）長・都道府県老人医療主管部（局）・老人医療主管課（部）長あて厚生労働省保険局医療課長・厚生労働省保険局歯科医療管理官通知）

保険医療機関等において保険診療を行うに当たり、治療（看護）とは直接関連のない「サービス」又は「物」について、患者側からその費用を徴収することについては、その適切な運用を期するため、「保険（医療）給付と重複する保険外負担の是正について」（平成４年４月８日老健第７９号）、「療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等」（平成１４年厚生労働省告示第９９号）、「「療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等」及び「選定療養及び特定療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等」の制定に伴う実施上の留意事項について」（平成１４年３月１８日保医発第０３１８００１号）及び「保険医療機関等において患者から求めることができる実費について」（平成１２年１１月１０日保険発第１８６号）において、その取扱いを示してきたところであるが、今般、下記のとおり、その取扱いを明確化することとしたので、その徹底につき、御配慮願いたい。

あわせて、入院中の患者など既に治療が開始されている患者からの費用徴収については、保険医療機関等に十分な配慮を求めるよう、その徹底につき、御配慮願いたい。

なお、「保険医療機関等において患者から求めることができる実費について」（平成１２年１１月１０日保険発第１８６号）は、平成１７年８月３１日限り廃止する。

記

１　費用徴収する場合の手続について

療養の給付と直接関係ないサービス等については、社会保険医療とは別に提供されるものであることから、もとより、その提供及び提供に係る費用の徴収については、関係法令を遵守した上で、保険医療機関等と患者の同意に基づき行われるものであるが、保険医療機関等は、その提供及び提供に係る費用の徴収に当たっては、患者の選択に資するよう次の事項に留意すること。

（１）　保険医療機関等内の見やすい場所、例えば、受付窓口、待合室等に費用徴収に係るサービス等の内容及び料金について患者にとって分かりやすく掲示しておくこと。なお、掲示の方法については、『療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等』及び『保険外併用療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等』の制定に伴う実施上の留意事項について」（平成１８年３月１３日保医発第０３１３００３号）第１の２（５）に示す掲示例によること。

（２）　患者からの費用徴収が必要となる場合には、患者に対し、徴収に係るサービスの内容や料金等について明確かつ懇切に説明し、同意を確認の上徴収すること。この同意の確認は、徴収に係るサービスの内容及び料金を明示した文書に患者側の署名を受けることにより行うものであること。ただし、この同意書による確認は、費用徴収の必要が生じるごとに逐次行う必要はなく、入院に係る説明等の際に具体的な内容及び料金を明示した同意書により包括的に確認する

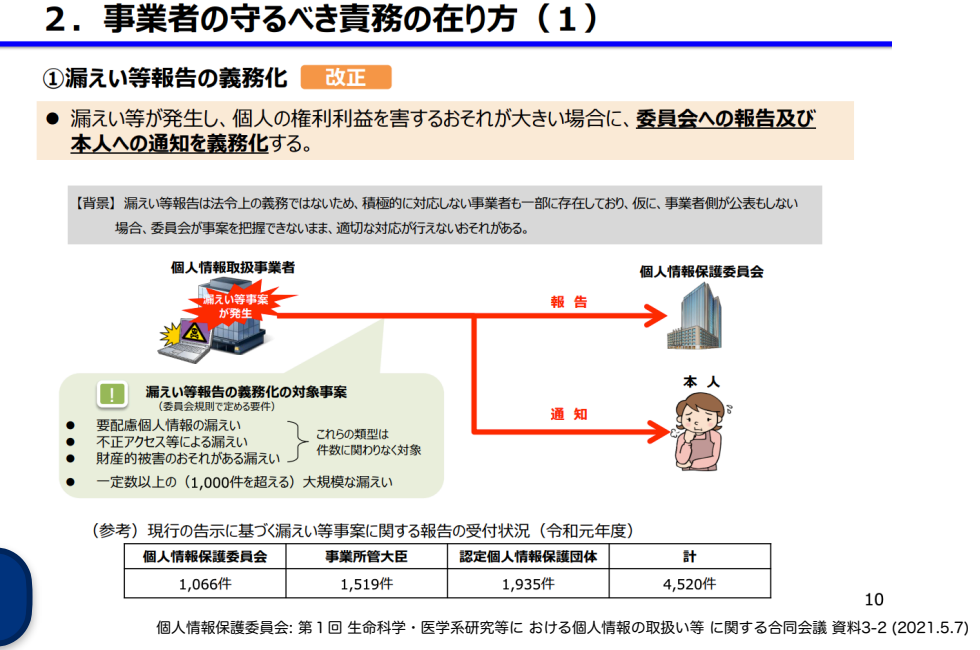
個人情報紛失・漏洩の実態

京大病院の年間個人情報紛失・漏洩件数

	令和3年度	令和4年度
書類・ラベル紛失	53	34
誤郵送	18	17
誤交付（手渡）	47	60
誤送信（mail・fax）	15	12
合計	133	123

※ 令和4年12月19日現在

圧倒的に物理媒体の取扱ミスが多い



- 「個人情報漏洩」の多くが、印刷物の作成・署名押印・交付送付処理時に発生
- **書面授受の電子化は「個人情報漏洩」防止に絶大な効果**
  - 医療機関間の紹介状送付
  - 厚生局・自治体向けの届出・診断書
  - さらに同じ仕組みが生保・損保に開放されれば効果は拡大
- **病名・処置名等の受信で届出が自動発生できればさらに効果的**
  - 「標準電子カルテ」の機能などを考える上でも重要

医師の押印・署名 / 紙面提出が必須の書類

- 各種届出
  - 指定医療機関届出・更新
  - 各種指定医登録・更新（麻薬免許等）
- 各種診断書・届出
  - 精神科病院入院時の届出（様式12~17）
    - ⇒ 事案発生後5日以内 **郵送必着**
  - 厚生医療受給者証
  - 臨床調査個人票（指定難病）
  - 小児慢性特定疾患医療意見書
  - 障害者年金診断書
  - 障害支援程度区分判定意見書
  - 要介護認定調査票
    - R3.8.16 「記入の手引き」改定
      ⇒ 医師の**自署の求めが増加**

SAMPLE

京大の文書管理システムの一日当印刷件数

	令和3年度	令和4年度
自治体	53	64
生保・損保	39	32
診療情報提供書	160	162
その他	1354	1,728
合計	1,606	1,987

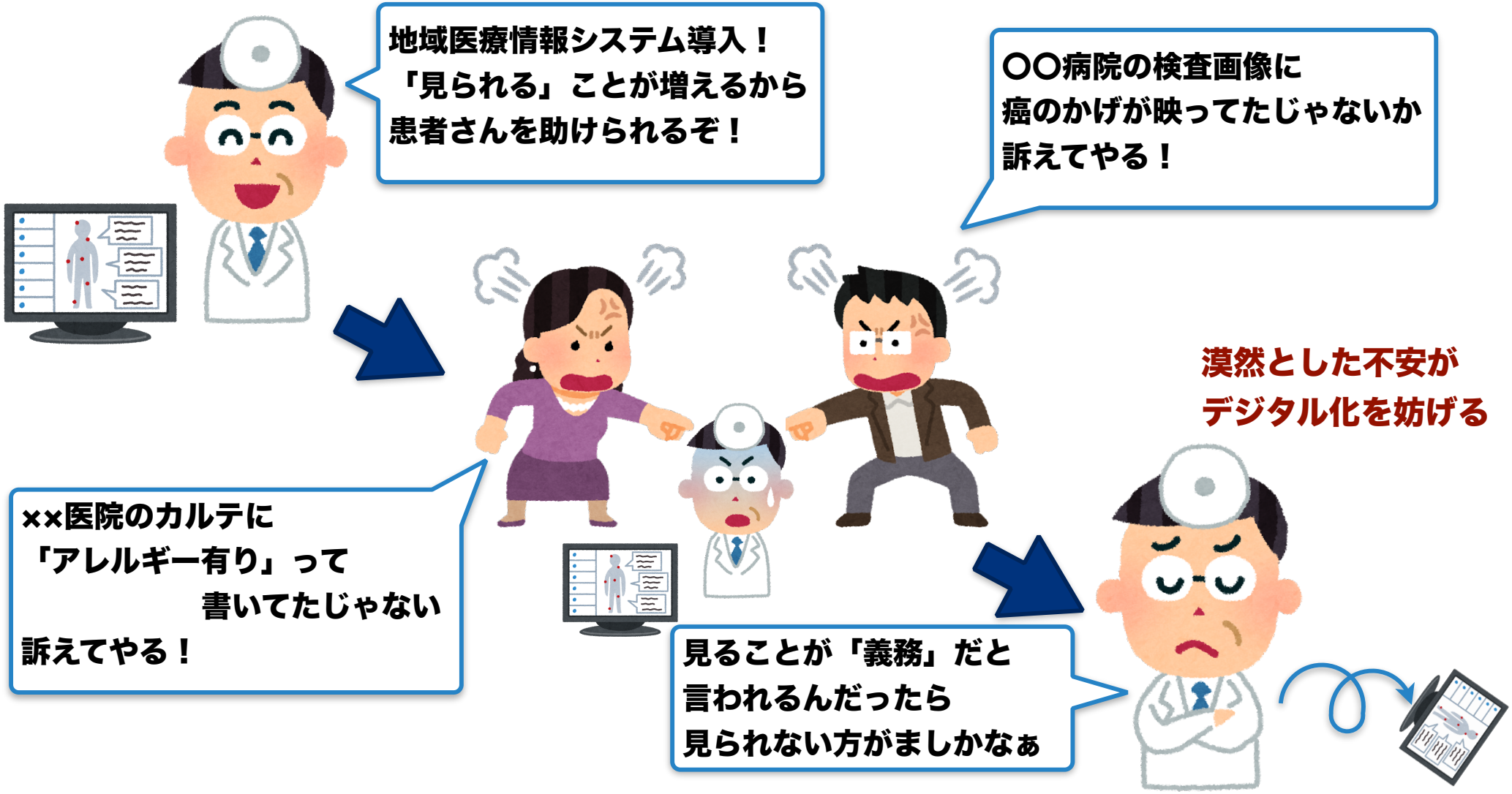


政府の医療情報基盤経由で 直送 できませんか？

- 電子カルテに入力したら、そのまま直送
- 病名・処置登録したら、自動的に算定・算出

医療者・患者・役所の手間を
全部なくして「みんな」を幸せに

データ共有に対する現場の不安…



「義務の範囲」の明確化など、責任のあり方の検討を

例えば、診療報酬が算定される診療情報提供書のみに「見る義務」の範囲を留めるとか…

DX って なぁに ？



手段　デジタル で みんな を 幸せに　目的

京大の取組：患者さんの待ち時間を最小化するために

次世代患者案内システム
Medical Avenue
Fitting Cloud

予約状況確認

保険証確認の案内

電子同意取得

FINDEX Bricks

当日の受付

診察や検査の案内

診察・検査の終了登録
精算方法の選択



GPS来院受付

屋内GPS
外来案内

TDK InvenSense　VENUE

クレジット
後払い

GLORY　待たずにラクーだ

来院前案内



病衣貸出とかも
やりたいなぁ…



マイナ保険証で
やりたいなぁ…

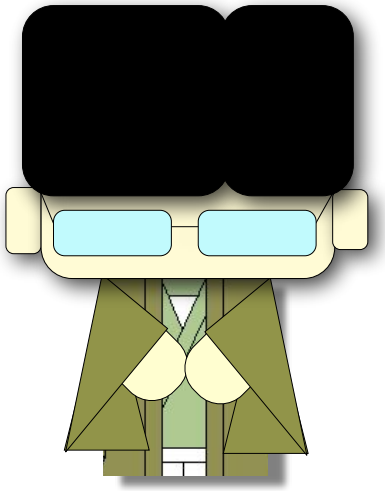


公費や
自治体クーポンも
扱いたいなぁ…



紹介状や
データも
渡したいなぁ…

民間が政府基盤を活用して「みんなを幸せ」 にできる近未来を



ご清聴有り難うございました！

医療DXを進めるために

medical informatics

黒田知宏

京都大学医学部附属病院 医療情報企画部長

（大学病院 医療情報・企画部門長会議 会長）

京都大学
KYOTO UNIVERSITY